

平成25年度第2回 富士見市子ども家庭福祉審議会会議録要旨

<日時>平成25年7月31日(水)午後1時30分～3時45分

<開催場所> 市民福祉活動センターぱれっと 第二会議室

<出欠状況>

関	矢島	石川順	増渕	林	加光	秋元
○	○	○	○	○	欠	欠
石川泉	島田	河本	松村	中村	吉原	細野
○	○	○	○	○	○	○
菅井	小栗					
○	○					

<事務局>

子ども未来部長 子育て支援課長 保育課長 みずほ学園長
 子育て支援課副課長 保育課主査 保育課主査 子育て支援課主事補

1 開 会 子育て支援課長

あいさつ 子ども未来部長

2 議 題

(1) 協議事項

事務局より配布資料の説明・確認を行った。

①子ども・子育て支援新制度について

従来制度と新制度の比較、子ども子育て支援事業計画とその策定のためのニーズ調査について、事務局(子育て支援課)より説明を行った。

●ニーズ調査の調査票について

【委員】このアンケートの調査対象は。

【事務局】就学前児童2600人、小学生1200人の合計3800人前後を予定している。

【委員】兄弟がいる家庭もあるが、家庭ごとに回答するのか。

【事務局】宛て名の子どもについて回答する。

●7～9ページ(幼稚園・保育所等の利用状況)について

【委員】病後児預かりについてはファミリーサポートセンターではなく、緊急サポートセンターが所管となっている。きちんと区別してほしい。

【事務局】ファミリーサポートセンターの「病後児預かりを含む」という部分を削除して、緊急サポートセンターを選択肢に追加する。

【委員】問25の設問の趣旨が分からない。基本的には市内にあったほ

うがいいという人が大半なのではないか。住んでる場所に施設が欲しいのか、職場の近くに欲しいのかという設問にしたらどうか。

【事務局】飯能市や日高市などでは、市境をまたがって施設を利用をしている実態があり、市外の施設を利用したいというニーズがどれほどあるのかを調べるための設問であると説明。

また、都内の保育園に通わせているご家庭もあり、職場の近所に欲しいという意見もある。もう少し選択肢を細分化することを検討する。

● 12～13ページ（地域の子育て支援事業の利用状況）について

【委員】問41の利用者負担についての設問の意図は何か。

【事務局】どのくらいの利用者負担が適切か目安を知るためのものと説明。

【委員】問42の表の事業と、実際に行われている事業名が結びつかない。具体的な事業名を入れるなど注釈が欲しい。

【事務局】富士見市で実際に行われている事業名を注釈で入れるなど、回答しやすいように表を工夫する。

● 16～17ページ（就学後の放課後の過ごし方）について

【委員】問50について、現状では放課後児童クラブの受け入れ対象ではない5・6年生まで含まれているのはなぜか。

【事務局】子ども・子育て新制度では、放課後児童クラブの受け入れの対象を6年生まで拡大しているため、その意向を調べるために5・6年生も含めている。

● 事務局より小学生世帯対象の調査票は未就学児用のものの抜粋のため、今回の会議の中で質問、意見があったものについては同時に修正する。

提示した調査票について上記のような意見が出された。

②『富士見市次世代育成支援行動計画（後期行動計画）』の進捗状況の評価について

事務局（子育て支援課）より今年度の評価方法の説明を行った。

<質疑>

なし。

3 事務連絡

次回の日程 8月28日（水）午後1時30分～

会場 市役所分館3階 会議室

4 閉会のあいさつ（副会長）